



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 大
 コード番号 9723 URL <http://www.kyotohotel.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平岩 孝一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)柳瀬 光義 (TEL)075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	7,281	—	△75	—	△350	—	△151	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△14.69	—
23年12月期第3四半期	—	—

平成23年12月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成23年12月期第3四半期の経営成績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	19,186	1,731	9.0
23年12月期	19,863	1,907	9.6

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,731百万円 23年12月期 1,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	3.00	3.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,450	7.3	440	93.4	73	25.5	76	—	7.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期3Q	10,338,000株	23年12月期	10,338,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	57,864株	23年12月期	57,520株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期3Q	10,280,255株	23年12月期3Q	10,281,042株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済をみると、内需については東日本大震災後の景気停滞から持直しの動きが継続してきた一方、外需は欧州債務問題等が響き減勢を強めてきたことから、全体としては捗々しくない状況が続きました。

京都のホテル業界におきましても、国内客は順調に推移したものの、外国客は昨年の反動増こそみられたものの、伸びは鈍く、「勢い」の感じられないままに推移しました。

当社ではこのような環境の中、京都ホテルオークラ内のカフェ「レックコート」の改装により、テイクアウト商品の販売拡充を図り、盛夏には高瀬川一之舟入沿いのビアテラス「了以」をオープンしました。一方からすま京都ホテルでは、屋外を眺望できる朝食をメインとした宴会場新設に加え、一部の客室改修を進めながら集客に努めました。また、2月より新規事業として京都府立医科大学付属病院の病院食事業という新たな分野を展開しております。

こうしたことの結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,281,256千円、営業損失は75,094千円となりましたが、新規事業であります上記病院食事業を除きますと、売上高は7,076,016千円、営業利益は26,633千円を確保しました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。なお、当社は第1四半期より連結財務諸表を作成しておりませんので、以下の前年同期比は各期の単体決算に基づいて記載しております。

宿泊部門

京都ホテルオークラは、国内エージェント経由の個人旅行と直接予約が伸び悩みましたが、国内エージェント経由の団体、インターネット予約等が順調に推移し、外国人旅行も回復したこともあり、売上高は前年同期比56,429千円増となりました。

からすま京都ホテルは、国内エージェント経由団体が伸び悩みましたが、外国人旅行とインターネットを中心とする直接予約が回復し、売上高は前年同期比32,239千円増となりました。

この結果、売上高は2,063,470千円（前年同期比4.5%増）となりました。

宴会部門

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、件数、人数ともに増加しました。また、一般宴会におきましても、大型宴会の受注により件数、人数ともに増加し、売上高は前年同期比では151,461千円増となりました。

からすま京都ホテルは、修学旅行が伸び悩んだものの、一般宴会が堅調に推移したことや、朝食会場をメインとした宴会場「オリゾンテ」の朝食売上が増加しました。また、同会場でのサマーバイキング等のイベントも売上に寄与し、売上高は前年同期比5,783千円増となりました。

この結果、売上高は2,431,446千円（前年同期比6.9%増）となりました。

レストラン部門

京都ホテルオークラは、鉄板焼「ときわ」、トップラウンジ「オリゾンテ」のランチが順調に推移し、カフェ「レックコート」におきましても改装効果による惣菜販売が好調でしたが、京料理「入舟」、中国料理「桃李」の伸び悩みにより売上高は前年同期比1,278千円減となりました。

からすま京都ホテルは、中国料理「桃李」、お食事処「入舟」が堅調に推移し、加えてバー「アンカー」につきましても客数の増加により、前年同期比38,721千円増となりました。

この結果、売上高は1,929,229千円（前年同期比2.0%増）となりました。

その他部門

その他部門の売上高は857,110千円（前年同期比46.7%増）となりました。

前年同期と比較して増加している主な要因は、京都ホテルオークラ別邸京料理「栗田山荘」におきまして、ランチメニューの「山荘弁当」が好調に推移しているほか、昨今の「和婚ブーム」の影響もあり、披露宴の受注件数が増加したことが挙げられます。また、新規事業として京都府立医科大学付属病院の病院食を開始したことや、通販部門においてレトルト食品「特製総料理長カレー」などの新商品を販売したことなどによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)
宿泊部門	2,063,470	28.3
宴会部門	2,431,446	33.4
レストラン部門	1,929,229	26.5
その他部門	857,110	11.8
合計	7,281,256	100.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ677,003千円減少し、19,186,009千円となりました。

負債につきましては、前事業年度末に比べ500,681千円減少し、17,454,706千円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ176,321千円減少し、1,731,302千円となり、自己資本比率は9.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の通期連結業績予想につきましては、前回(平成24年8月13日)に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	731,864	453,418
売掛金	460,784	399,857
原材料及び貯蔵品	90,227	62,415
前払費用	71,559	98,186
繰延税金資産	34,011	143,886
未収還付法人税等	220,863	—
その他	14,541	19,272
貸倒引当金	△407	△228
流動資産合計	1,623,445	1,176,809
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,350,902	12,110,632
構築物(純額)	107,453	95,805
機械及び装置(純額)	46,623	50,971
車両運搬具(純額)	86	12
工具、器具及び備品(純額)	223,447	235,244
土地	5,049,750	5,049,750
リース資産(純額)	57,804	77,177
建設仮勘定	—	37,910
有形固定資産合計	17,836,068	17,657,504
無形固定資産		
ソフトウェア	11,525	9,290
リース資産	61,629	45,891
電話加入権	4,429	4,429
無形固定資産合計	77,584	59,611
投資その他の資産		
投資有価証券	101,206	73,255
関係会社株式	20,384	23,335
長期前払費用	131,363	102,880
差入保証金	33,027	44,412
会員権	9,500	9,500
繰延税金資産	26,162	35,609
その他	11,623	11,590
貸倒引当金	△7,353	△8,500
投資その他の資産合計	325,913	292,083
固定資産合計	18,239,567	18,009,199
資産合計	19,863,012	19,186,009

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,368	157,710
短期借入金	1,817,000	1,967,000
1年内返済予定の長期借入金	780,000	820,000
リース債務	55,442	64,373
未払金	517,729	515,136
未払費用	173,366	156,656
未払法人税等	12,356	5,960
前受金	59,192	85,185
預り金	128,677	141,070
前受収益	47,654	59,163
賞与引当金	—	74,490
その他	48,008	43,894
流動負債合計	3,889,796	4,090,642
固定負債		
長期借入金	12,925,000	12,320,000
リース債務	73,864	68,698
退職給付引当金	59,945	50,788
役員退職慰労引当金	42,185	42,069
長期預り保証金	964,597	882,508
固定負債合計	14,065,592	13,364,064
負債合計	17,955,388	17,454,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,000	950,000
資本剰余金		
資本準備金	209,363	209,363
資本剰余金合計	209,363	209,363
利益剰余金		
利益準備金	12,342	15,427
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	762,719	577,793
利益剰余金合計	775,062	593,220
自己株式	△24,546	△24,670
株主資本合計	1,909,879	1,727,913
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,256	3,388
評価・換算差額等合計	△2,256	3,388
純資産合計	1,907,623	1,731,302
負債純資産合計	19,863,012	19,186,009

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	
室料売上	1,991,591
料理売上	3,125,049
飲料売上	566,297
雑貨売上	391,626
その他売上	1,206,691
売上高合計	7,281,256
売上原価	
料理原料	924,516
飲料原料	124,340
雑貨原価	303,638
その他原価	238,057
原価合計	1,590,552
売上総利益	5,690,704
販売費及び一般管理費	5,765,798
営業損失(△)	△75,094
営業外収益	
受取利息	47
受取配当金	1,627
受取手数料	4,035
その他	5,135
営業外収益合計	10,846
営業外費用	
支払利息	254,737
雑損失	31,675
営業外費用合計	286,412
経常損失(△)	△350,660
特別利益	
受取補償金	122,345
その他	4,807
特別利益合計	127,153
特別損失	
固定資産除却損	39,913
貸倒引当金繰入額	1,200
特別損失合計	41,113
税引前四半期純損失(△)	△264,621
法人税、住民税及び事業税	7,231
法人税等調整額	△120,851
法人税等合計	△113,620
四半期純損失(△)	△151,000

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。